

平成28年4月入学

東京工業大学
大学院修士課程
専門職学位課程

清華大学（中国）との大学院合同プログラム

入試案内

平成27年4月

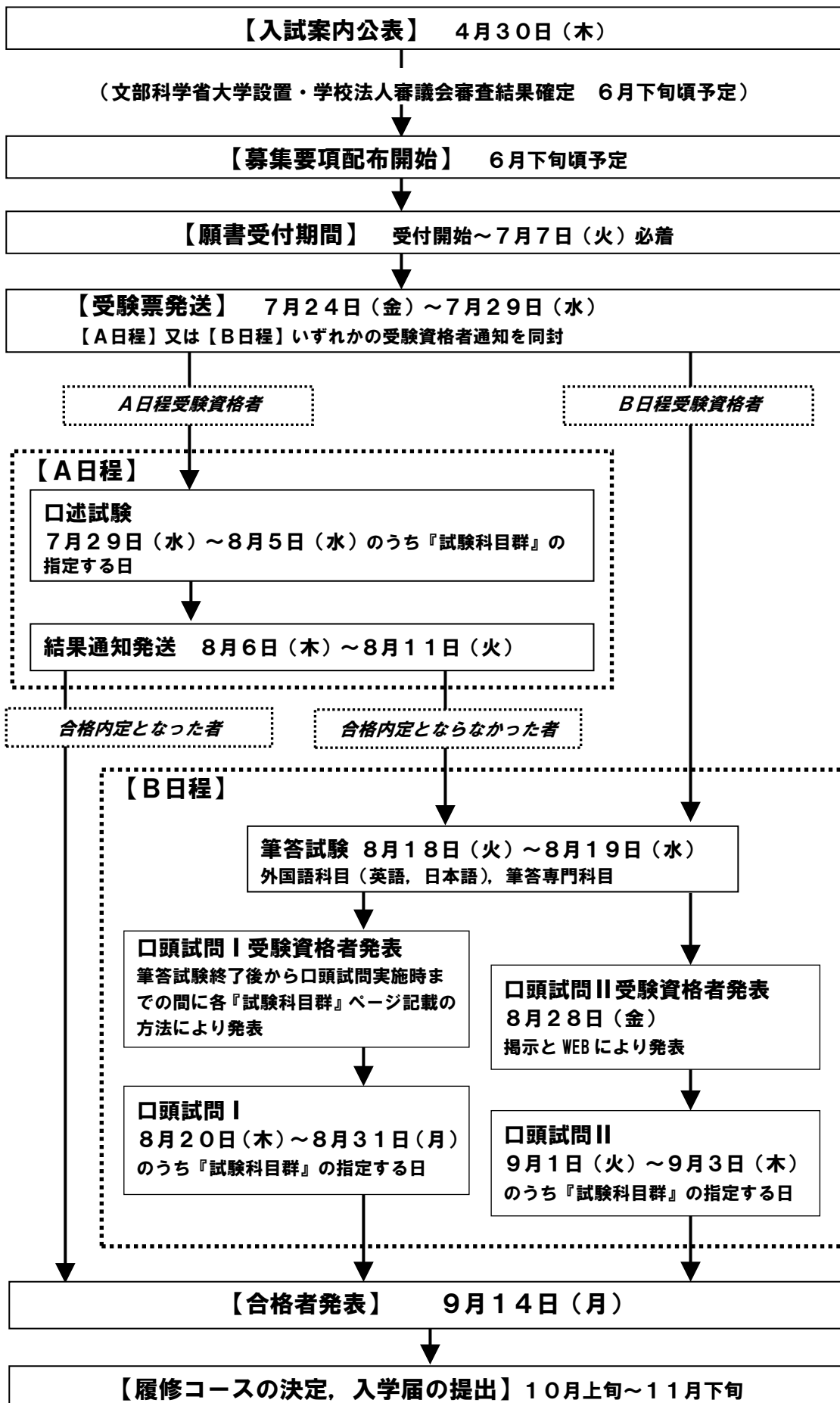


東京工業大学
Tokyo Institute of Technology

※ 本冊子は、募集要項ではありません。

※ 本「入試案内」の記載については、予定であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果によって確定するため、変更があり得ます。

修士課程4月入学試験の流れ



※ 上記日程は予定であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果によって確定するため、変更があり得ます。

平成 28 年 4 月入学大学院修士課程及び専門職学位課程を志望する皆様へ

平成 27 年 4 月
東京工業大学

東京工業大学は、平成 28 年 4 月より、学部と大学院を統一した学院に改組する教育改革を実施予定であり、現在、文部科学省へ設置計画に係る手続きをしております。

平成 27 年夏に実施する、平成 28 年 4 月入学大学院修士課程及び専門職学位課程入学試験は、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果（6 月下旬頃の見込み）を受け確定したのち、学院・系及び専門職学位課程を募集単位として実施します。本案内は、募集要項に先立って本入学試験の概要をお知らせするものです。試験科目等実施内容、出願書類等を確認のうえ、事前に準備を進めていただくことをお勧めします。

(1) 募集要項の配布、出願受付の日程については、本学ホームページにて公表（平成 27 年 6 月下旬予定）しますので、逐次、情報を確認してください。

(2) 志望する学院・系、指導教員の決定にあたっては、「志望する学院・系、指導教員の決定について」（11 ページ）、「①学院・系案内」（12 ページ）、「②試験科目群案内」（66 ページ）を参照してください。

募集要項について

平成 28 年 4 月入学大学院修士課程及び専門職学位課程入学試験に係る募集については、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果（6 月下旬頃の見込み）を受け確定したのち、募集要項の配布を開始することができる予定です。

出願締切まで十分な余裕がないことから、6 月 1 日以降、予め下記により手続きしてください。募集要項の配布を開始し次第、速やかに送付します。

本学住所宛の封筒に、募集要項名（「平成 28 年 4 月入学大学院修士課程及び専門職学位課程入学試験学生募集要項」）を朱書し、次の 2 点を同封のうえ、送付してください。封筒の裏面には必ず差出人の住所、氏名を記入してください。

- 返信用封筒
（角型 2 号 24cm×33cm に郵便番号、住所、氏名を明記し、350 円分の切手を貼付）
※ 封筒の見やすい所に「ゆうメール」と朱書すること。
- 連絡先（電話番号を記入したメモ）

【送付先】

〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1-W8-103
東京工業大学学務部入試課 宛

目 次

1. 募 集 人 員	1
2. 入 学 時 期	2
3. 出 願 資 格	2
4. 出 願 書 類 等	4
5. 願 書 受 付	6
6. 選 抜 試 験	6
7. 合 格 者 発 表	8
8. 合格者の履修コースの決定について	8
9. 入 学 手 続	8
10. 注 意 事 項	8
学院・系、及びコース等の構成	9
専攻と学院の対応表	10
志望する学院・系、指導教員、試験科目群の決定について	11
① 学院・系及び専門職学位課程案内 (指導教員及びその研究分野一覧、指定する試験科目群)	12
理 学 院	13
工 学 院	19
物質理工学院	34
情報理工学院	44
生命理工学院	50
環境・社会理工学院	54
② 『試験科目群』案内 (試験実施内容、当該科目を指定する指導教員及びその研究分野一覧)	67
③ 清華大学(中国)との大学院合同プログラム入試案内	210
④ 平成27年4月入学及び平成26年10月入学東京工業大学 大学院修士課程・専門職学位課程入学試験結果(公表資料)	213
アドミッションポリシー	214
参考情報1 合格者の履修コースの決定方法について	215
参考情報2 各コース等の受入れ可能な予定人数について	216

1. 募集人員

学院名	募集人員	系名	学院・系案内ページ
理学院	154人	数学系	13ページ
		物理学系	14ページ
		化学系	16ページ
		地球惑星科学系	18ページ
工学院	477人	機械系	19ページ
		システム制御系	26ページ
		電気電子系	28ページ
		情報通信系	31ページ
		経営工学系	33ページ
物質理工学院	347人	材料系	34ページ
		応用化学系	39ページ
情報理工学院	135人	数理・計算科学系	44ページ
		情報工学系	46ページ
生命理工学院	168人	生命理工学系	49ページ
環境・社会理工学院	263人	建築学系	53ページ
		土木・環境工学系	56ページ
		融合理工学系	58ページ
		社会・人間科学系	63ページ
	40人	技術経営専門職学位課程	65ページ
合計		1,584人	

※ 技術経営専門職学位課程では、上記募集人員のうち10人を、12月に行う社会人のみを対象にした入学試験で別途選抜します。

※ 教育上の配慮から、系ごとに受け入れられる人数（以下、「受入可能予定人数」とする。）を設けています。各系案内ページを参照してください。

※ 本組織は、本学による構想であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果によって確定するため、変更があります。

2. 入学時期

本選抜試験の対象とする入学時期は「平成28年4月」です。

3. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び平成28年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定（大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者及び平成28年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (8) 大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、次のいずれかの要件を満たす者
 - 一 日本国内において、高等専門学校若しくは短期大学の専攻科、朝鮮大学校又は外国大学日本校（文部科学大臣が別に指定する教育施設を除く。）の教育を受け、16年の課程に相当する期間を修了したと認められる者（先に掲げた教育機関の卒業生又は入学する日の前日までに卒業する見込みの者）であって、入学する日の前日までに22歳に達するもの
 - 二 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に定める日以前に修了した者
 - 三 高等専門学校若しくは短期大学を卒業した者又は大学に2年以上在学し退学した者で、企業等において、2年以上正規職員としての勤務歴を有する者（環境・社会理工学院技術経営専門職学位課程志願者のみ）
- (10) 大学卒業までに16年を要しない国からの外国人留学生又はこれに準ずる者であって次の2つの要件を満たし、かつ本学大学院が我が国の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
 - 一 大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として1年以上研究に従事した者及び平成28年3月31日までに1年以上研究に従事する見込みの者
 - 二 平成28年3月31日までに22歳に達する者

【出願資格審査について】

出願資格（８），（９）又は（１０）による志願者は、出願資格審査を受けることが必要です。

４ページの出願書類と一緒に、下記の書類を提出してください。

なお、出願資格（９）又は（１０）の該当者は、提出前に必ず入試課まで問い合わせてください。

出願資格審査に必要な書類（○印のある書類を提出してください）

提出書類	出 願 資 格			備 考
	(8)	(9)	(10)	
① 出願資格審査申請書	○	○	○	募集要項に添付
② 在学証明書	○			
③ 所属大学（学部）長推薦書 本学の者は、所属学科長に作成してもらうこと（大学（学部）長の印は不要）	○			募集要項に添付
④ 当該大学の学習規程等 ただし本学出身のものは提出不要	○			
⑤ 出願資格（９）の三、又は（１０）の一を証明する書類 ☆については出願資格（９）の三の場合のみ提出		☆	○	

【出願資格(8)の該当者への注意事項】

出願資格（８）のうち本学学部から飛び入学で出願する場合については下記１～３の要件を満たす必要があります。なお、他大学からの飛び入学による出願の場合はこれに準ずることとします。

- 平成２８年３月３１日において、大学在学期間が３年間に達すること。ただし、大学を卒業した者及び平成２８年３月３１日までに卒業見込み（早期卒業を含む）の者は、出願資格（１）となり、出願資格審査は不要です。
- ２年次までに、当該志願者の所属学科（これに相当するものを含む）における成績順位が上位約５％以内であり、かつ、原則として９５単位以上を修得していること。
- ３年次までに、原則として専門科目を６０単位以上及び卒業に必要な全科目（文系科目、（総合科目）、（文明科目）、国際コミュニケーション科目Ⅰ・Ⅱ、理工系基礎科目及び健康・スポーツ科目）の単位を修得見込みであること。なお、入学試験に合格した後、これらの単位を修得することができないことが確定した場合には、合格を取り消すこととします。

※ 飛び入学で出願し、本学大学院修士課程及び専門職学位課程に入学する場合、学部は「卒業」ではなく「退学」となります。各種国家試験等の受験資格では、大学の学部卒業が要件となっているものもあります。また、海外の大学の大学院を受験する場合に受験資格が認められない可能性もあります。注意してください。

なお、学士の学位の取得を希望する者は、「大学評価・学位授与機構」に学位授与申請を行ってください。審査に合格した場合に「大学評価・学位授与機構」より学士の学位が授与されます。ただし、大学卒業とはなりません。

（大学評価・学位授与機構ホームページ <http://www.niad.ac.jp/>）

4. 出願書類等

志願者は下記【志願者全員が提出する書類等】及び【該当者のみ提出する必要がある書類】を一括して提出してください。願書受付期間に提出できないものがある場合は、受付はいたしません。

身体に障害がある志願者で、その障害の種類・程度に応じて受験上及び修学上の特別な配慮を必要とする場合は、あらかじめ願書受付期間の前に入試課に申し出てください。

【志願者全員が提出する書類等】

出 願 書 類 等	備 考
① 入学志願票・電算処理票・写真票・受験票	※
② 整理票	※
③ 受験票送付用封筒 住所、氏名等を記入し、372円分の切手を貼ること	※
④ 入学検定料 30,000円 <ul style="list-style-type: none"> ・別添の払込取扱票にて全国の金融機関・ゆうちょ銀行又は郵便局（三井住友銀行を利用した場合は手数料無料）の受付窓口で払い込み、「振替払込受付証明書（お客さま用）」を電算処理票の所定の貼り付け欄に貼付すること ・日本国政府の国費奨学金を受給している外国人留学生（以下国費留学生）は不要です。国費外国人留学生証明書を提出すること ・入学を希望する者又は主たる家計支持者が居住する地域の自然災害により災し、災害救助法（昭和22年法律第118号）の適用を入学願書の提出時に受けており、検定料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学検定料を免除することがあります。下記のような場合に免除となりますが、詳しくは出願期間前に入試課までお問い合わせください。 <ul style="list-style-type: none"> 1) 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流出した場合 2) 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合 	※
⑤ 成績証明書 <ul style="list-style-type: none"> ・本学卒業・卒業見込みの者も必ず提出すること ・志望する指導教員の指定する『試験科目群』が複数ある場合は、原本を2部提出すること（コピーしたものは不可） ・教養課程と専門課程が分かれている場合には、両方提出すること ・大学に編入学した者は、高等専門学校又は短期大学等の成績証明書も提出すること 	
⑥ 卒業証明書又は卒業見込み証明書 <ul style="list-style-type: none"> ・本学卒業・卒業見込みの者も必ず提出すること ・出願資格（2）の者で、学士の学位を授与された者は、大学評価・学位授与機構が発行した学位授与証明書を提出し、学士の学位を授与される見込みの者は、学位授与申請予定である旨の申立書（書式自由）を提出すること 	
⑦ 志望理由書 <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ等を設けている場合もあるので、各『試験科目群』ページを必ず参照すること。なお、テーマを設けていない『試験科目群』の志願者も必ず提出すること ・本学卒業・卒業見込みの者も必ず提出すること ・志望する指導教員の指定する『試験科目群』が複数ある場合は、『試験科目群』毎に作成し、提出すること 	※ ただし、別添の様式に準じていれば、ワープロ等で作成した物を提出しても差し支えない

（注1）⑤及び⑥は一つの証明書にまとまってもかまいません。

※印の入学志願票等所定の用紙は、募集要項に添付されます。募集要項については、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果（6月下旬頃の予定）を受け確定したのち、配布します。本学ホームページに最新情報を公表しますので、逐次、確認してください。

【該当者のみ提出する必要がある書類】

該 当 者	出 願 書 類	備 考
①筆答試験のうち英語試験を実施せず、本学の指定する外部テストのスコアシートを利用する『試験科目群』の志願者 ②『試験科目群』の定める点数以上の外部テストのスコアシート提出により英語試験免除等を希望する志願者	外部テストのスコアシート（成績証明書）	下記【外部テストのスコアシートの提出について】及び各試験科目群ページを参照すること
外国人留学生（全員）	住民票（外国人）（やむを得ない場合は、在留カードの両面のコピー、又は在留資格、滞在期間の確認ができる書類のコピーでも可）	
外国人留学生（該当者のみ）（日本政府国費奨学金受給者）	国費外国人留学生証明書	
外国人留学生（該当者のみ）（外国政府奨学金受給者）	外国政府の奨学金を受給していることを確認できる書類	

【外部テストのスコアシートの提出について】

筆答試験のうち英語試験を実施しない『試験科目群』を受験する場合は、外部テストのスコアシート（成績証明書）の提出が必要です。また、英語試験を実施する『試験科目群』であっても、点数が『試験科目群』の免除基準を満たす場合には、外部テストのスコアシートを提出することによって英語試験が免除される場合があります。当該『試験科目群』のページを必ず確認し、指示に従ってください。なお、志望する指導教員が指定する『試験科目群』が複数にある場合は第1志望の『試験科目群』のページの指示に従ってください。

スコアシートの提出方法は下記3通りのいずれかで、『試験科目群』が指定する方法となります。

- a. 出願時に原本の提出を必須とする
- b. 出願時に原本の提出を原則とするが、試験科目群の指定する方法等により後日の提出も認める
- c. 出願時には提出せず、試験科目群の指定する方法等により後日提出する

- (1) 本学が指定する外部テストは、TOEFL-iBT, TOEFL-PBT, TOEIC です。TOEFL-ITP 及び TOEIC-IP 等は認められていないので注意してください。
- (2) 出願書類として提出するスコアシートは、TOEFL-iBT または TOEFL-PBT では、Examinee Score Reportです。ETSから直接本学に送付されるOfficial Score Reportは利用できないので注意してください。TOEIC の場合は Official Score Certificate です。
- (3) スコアシートは、当該試験願書提出期限からさかのぼって2年以内に受験したものに限り有効とします。

《本学が定める外部テストの換算基準》

1. TOEICとTOEFL-PBTの換算式

$$((\text{TOEFL-PBT}) - 296) \div 0.348 = \text{TOEIC}$$

※ ただしTOEFL-PBTの点数が400点以下、TOEICの点数が300点以下の場合は、上記の換算式は適用されません。

2. TOEFL-iBT と TOEFL-PBT の得点換算表 (ETS のホームページより抜粋)

iBT	PBT	iBT	PBT	iBT	PBT	iBT	PBT
120	677	92-93	580-583	61	500	36-37	420
120	673	90-91	577	59-60	497	35	417
119	670	88-89	570-573	58	493	34	410-413
118	667	86-87	567	57	487-490	33	407
117	660-663	84-85	563	56	483	32	400-403
116	657	83	557-560	54-55	480	30-31	397
114-115	650-653	81-82	553	53	477	29	390-393
113	647	79-80	550	52	470-473	28	387
111-112	640-643	77-78	547	51	467	26-27	380-383
110	637	76	540-543	49-50	463	25	377
109	630-633	74-75	537	48	460	24	370-373
106-108	623-627	72-73	533	47	457	23	363-367
105	617-620	71	527-530	45-46	450-453	22	357-360
103-104	613	69-70	523	44	447	21	353
101-102	607-610	68	520	43	443	19-20	347-350
100	600-603	66-67	517	41-42	437-440	18	340-343
98-99	597	65	513	40	433	17	333-337
96-97	590-593	64	507-510	39	430		
94-95	587	62-63	503	38	423-427		

5. 願 書 受 付

願書の受付は、募集要項配布ののち、速やかに開始する予定です。本学ホームページに掲載しますので、逐次、情報を確認してください。

志願者は出願書類一式を下記のとおり提出してください。願書記入事項及び提出書類の不備なものは受理できませんので、郵送・提出前には記入漏れ、書類不備のないことを必ず確認してください。(受付期間を十分考慮して早めに到着・提出できるよう事前の準備をお願いします。)

なお、願書受理後の提出書類の内容変更はできません。

【郵送する場合】

出願書類一式を別添の封筒に入れ、速達書留郵便で送付してください。

- ・ 受付期間 (予定) **受付開始から7月7日(火) 必着**
- ・ 郵送先 **〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1-W8-103
東京工業大学 学務部入試課**

【窓口で提出する場合】

出願書類一式を募集要項に添付の封筒に入れ、紛失事故防止のため必ず**厳封のうえ提出**してください。願書提出時に窓口で書類のチェック等はしません。

- ・ 受付期間 (予定) **受付開始から7月7日(火) 10時～12時, 13時～15時**
(この時間以外は一切受けません)
- ・ 受付窓口 **入試課 (大岡山キャンパス西8号館E棟212号室)**
(すずかけ台キャンパスでは受けません)

上記日程は予定であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果によって確定するため、変更があり得ます。

6. 選 抜 試 験

選抜は、学院・系及び専門職学位課程により指定された『試験科目群』により行われ、それぞれ『A日程』(口述試験等による選抜)及び『B日程』(筆答試験及び口頭試問等による選抜)により構成されます。いずれの受験資格者になるかは出願書類によって決定し、7月24日(金)～7月29日(水)の受験票の発送時に通知します(志願者は選択できません)。受験票が届かない場合は、必ず入試課へ確認してください。

入試課 TEL. 03-5734-3990, 平日 9:00～17:15 [12:15～13:15 は除く]

なお、出願資格（８）による志願者（３ページ参照）は、『Ｂ日程』のみの受験となります。また、試験科目群『数学』、『基礎物理学』、『物性物理学』、『地球惑星科学』及び『数理・計算科学』は、『Ｂ日程』のみを実施し、『Ａ日程』は行いません。

【Ａ日程】

口述試験及び出願書類によって合格内定者を決定します。ただし、教育上の配慮から、教員あたりの指導学生数に制限を設けています。

口述試験

- ・ 口述試験は、７月２９日（水）～８月５日（水）の間に実施します。
- ・ 日時及び場所等については、７月２４日（金）～７月２９日（水）の受験票の発送時にお知らせします。試験場は『試験科目群』により大岡山キャンパス又はすずかけ台キャンパスとなります。
- ・ 『Ａ日程』の試験結果通知は、８月６日（木）～８月１１日（火）の間に発送します。

合格内定とならなかった者は、下記の『Ｂ日程』を受験することができます。一方、合格内定となった者は、『Ｂ日程』を受験することはできません。

【Ｂ日程】

筆答試験、口頭試問及び出願書類によって合否を決定します。ただし、教育上の配慮から、教員あたりの指導学生数に制限を設けています。

なお、筆答試験は「第１志望の指導教員により指定された『試験科目群』の筆答専門科目」を受験することになりますが、第４志望以下の指導教員の指定する『試験科目群』が異なる場合、口頭試問は第１志望、第４志望以下の教員が指定する『試験科目群』で受験資格者となることがありますので、当該『試験科目群』において口頭試問を受ける必要があります。

筆答試験

- ・ 筆答試験は、８月１８日（火）及び８月１９日（水）に、**大岡山キャンパスで実施します。**
- ・ 日時及び場所等については、試験場案内を８月１７日（月）１０時頃から大岡山キャンパス正門守衛所付近で配布します。また同時に本学ホームページ（受験生向け最新情報）にも掲載します。
- ・ 筆答試験は、外国語科目（英語、日本語）及び筆答専門科目です。
- ・ 英語は志願者全員が受験しなければなりません。『試験科目群』によっては外部テストのスコアシートの提出に置き換えています。その場合については、５ページの【外部テストのスコアシートの提出について】及び各『試験科目群』ページを参照してください。
- ・ 日本語は、日本語試験を実施する『試験科目群』を希望する外国人留学生のみが受験してください。
- ・ 外国語科目での辞書の持ち込みは、『試験科目群』で「辞書持ち込み可」（各『試験科目群』ページ【試験実施日程等】の備考欄に記載）とされた科目以外は認めません。
- ・ 筆答専門科目については、各『試験科目群』ページを参照して下さい。なお、『試験科目群』によっては他の『試験科目群』で出題される筆答専門科目を受験することができますが、この場合、出題された『試験科目群』の試験日時・試験室で受験することになります。

口頭試問

- ・ 口頭試問は下記の２種類があり、『試験科目群』により実施する口頭試問が指定されています。各『試験科目群』ページで確認してください。試験場は大岡山キャンパス又はすずかけ台キャンパスとなります。

口頭試問Ⅰ

- ・ 受験資格者発表：筆答試験終了後から口頭試問実施時までの間に各『試験科目群』ページ記載の方法により発表します。
- ・ 実施日時：８月２０日（木）～８月３１日（月）のうち『試験科目群』ページで指定された日時
- ・ 実施場所：『試験科目群』で指定された場所（受験票の発送時に集合場所・日時一覧を同封します。）

口頭試問Ⅱ

- ・ 受験資格者発表：８月２８日（金）１２時頃、大岡山キャンパス「なごみの広場」（附属図書館の先）で掲示により発表します。（掲示期間８月２８日（金）～９月３日（木））また、同日１３時頃より、本学ホームページ（受験生向け最新情報）にも掲載します。なお、電話での照会には一切応じません。
- ・ 実施日時：９月１日（火）～９月３日（木）のうち『試験科目群』で指定された日時
- ・ 実施場所：『試験科目群』で指定された場所（受験票発送時に集合場所・日時一覧を同封します。）

※ 本試験日程は予定であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果によって確定するため、変更
があり得ます。

7. 合格者発表(予定)

9月14日(月)12時頃、大岡山キャンパス「なごみの広場」(附属図書館の先)に掲示します(掲示期間9月14日(月)～9月29日(火))。なお、受験者の便宜を図るため13時頃より、ホームページにも掲載します。また、同日付で合格者全員に合格通知書を郵送します。

合格通知書には、氏名のほか、合格した学院・系及び指導教員名が明示されます。

試験当日に、学外(大岡山駅周辺、大学正門前)で行っている合否電報等の勧誘は、大学とは一切関係ないので十分注意してください。これらのことから生じるトラブル等に対して、本学は一切責任を負いません。

8. 合格者の履修コースの決定について

本案内の214ページを参照してください。

9. 入学手続

平成28年4月入学合格者については、9月14日(月)(予定)に合格通知書とともに入学届書を郵送します。入学届書に必要事項を記入の上、11月20日(金)(予定)までに本学入試課へ必ず提出してください。さらに、平成28年1月下旬頃に入学手続書類を発送します。入学手続は、平成28年3月29日(火)及び30日(水)に行う予定です。(入学手続日は変更の可能性がありますので、送付された入学手続書類で確認してください。)

入学手続きにおいて、入学料282,000円(予定)を納入してください。ただし、入学料又は授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

10. 注意事項

- ・ 出願書類は一切返却しません。
- ・ 願書受理後の出願書類の内容変更は、いかなる場合も認めません。入学志願票の内容と電算処理票等他の書類の内容が異なる場合は、入学志願票に基づいて処理します。
- ・ 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ・ 出願書類に記載の情報は、入試及び学務関連業務のみに使用します。
- ・ 一度納入した入学検定料は、願書受理後はいかなる理由があっても返還しません。ただし、出願資格審査を受け、資格がないと認定された場合は、返還いたします。
- ・ 『A日程』(口述試験)及び『B日程』(筆答試験及び口頭試問)の際には、必ず受験票を携帯してください。
- ・ 志願者に対する宿泊施設の紹介、斡旋は行いません。
- ・ 入学試験に関する照会は、入試課大学院入試グループ宛に行ってください。
- ・ 本入試案内に記載されている日程は、予定であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果によって確定するため、変更があり得ます。最新の情報は、ホームページで公表しますので、逐次、確認してください。

[受験情報及び試験に関する照会先]

〒152-8550

東京都目黒区大岡山2-12-1-W8-103

東京工業大学学務部入試課大学院入試グループ

電話 03-5734-3990 (平日9:00～17:15[12:15～13:15は除く])

e-mail nyushi.daigakuin@jim.titech.ac.jp

ホームページ <http://www.titech.ac.jp/>

新着入試情報 http://www.titech.ac.jp/graduate_school/news/index.html

学院，系及びコース等の構成

本学では，平成 28 年 4 月より，学部と大学院を統一した学院に改組する教育改革を実施予定です。現行の 3 学部 23 学科，6 研究科 45 専攻を 6 学院 19 系及び 1 専門職学位課程に統合・再編し，学士課程と修士課程，修士課程と博士課程の教育カリキュラムがシームレスに学修しやすく設計された教育体系を構築します。学生は，学院・系内に設置されるコースという大学院課程の教育プログラムを履修します。

学 院	系	コース
理 学 院	数学系	数学コース
	物理学系	物理学コース
	化学系	化学コース エネルギーコース
	地球惑星科学系	地球惑星科学コース
工 学 院	機械系	機械コース 原子核工学コース エンジニアリングデザインコース ライフエンジニアリングコース エネルギーコース
	システム制御系	システム制御コース エンジニアリングデザインコース
	電気電子系	電気電子コース 原子核工学コース ライフエンジニアリングコース エネルギーコース
	情報通信系	情報通信コース ライフエンジニアリングコース
	経営工学系	経営工学コース エンジニアリングデザインコース
物 質 理 工 学 院	材料系	材料コース 原子核工学コース ライフエンジニアリングコース エネルギーコース
	応用化学系	応用化学コース 原子核工学コース ライフエンジニアリングコース エネルギーコース
情 報 理 工 学 院	数理・計算科学系	数理・計算科学コース 知能情報コース
	情報工学系	情報工学コース 知能情報コース
生 命 理 工 学 院	生命理工学系	生命理工学コース ライフエンジニアリングコース
環 境 ・ 社 会 理 工 学 院	建築学系	建築学コース 都市・環境学コース エンジニアリングデザインコース
	土木・環境工学系	土木工学コース 都市・環境学コース エンジニアリングデザインコース
	融合理工学系	地球環境共創コース 原子核工学コース エンジニアリングデザインコース エネルギーコース
	社会・人間科学系	社会・人間科学コース
	イノベーション科学系	イノベーション科学コース(博士後期課程のみ)
	技術経営専門職学位課程	

※ 各コース等の受入れ可能な予定人数については，215 ページを参照してください。

※ 学院，系の構成は，本学による構想であり，文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果によって確定するため，変更があり得ます。

専攻と学院の対応表

専攻 (主な移行元)		学院
数学, 基礎物理学, 物性物理学, 化学, 地球惑星科学, <u>物質科学</u>		理 学 院
機械物理工学, 機械制御システム, 機械宇宙システム, 電気電子工学, 電子物理工学, 通信情報工学, <u>原子核工学</u> , 創造エネルギー, 物理電子システム創造, <u>メカノマイクロ工学</u> , 物理情報システム, <u>情報環境学</u> , 経営工学, <u>社会工学</u>		工 学 院
<u>物質科学</u> , 材料工学, 有機・高分子物質, 応用化学, 化学工学, <u>原子核工学</u> , 物質科学創造, 物質電子化学, 材料物理科学, 化学環境学		物 質 理 工 学 院
知能システム科学, 数理・計算科学, 計算工学		情 報 理 工 学 院
分子生命科学, 生体システム, 生命情報, 生物プロセス, 生体分子機能工学		生 命 理 工 学 院
土木工学, 建築学, 国際開発工学, <u>原子核工学</u> , 環境理工学創造, 人間環境システム, <u>情報環境学</u> , 人間行動システム, 価値システム, <u>社会工学</u> , <u>イノベーション</u>		環 境 ・ 社 会 理 工 学 院
技術経営		

新しいカリキュラム

- * 下線は複数の学院に移行
- * 技術経営専攻は専門職学位課程
- * イノベーション専攻は博士後期課程のみ

※本学教育改革に関する情報：

<http://www.titech.ac.jp/education/reform/index.html>

本計画は、本学による構想であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果によって確定するため、変更があり得ます。

志望する学院・系，指導教員，試験科目群の決定について

(1) 入学試験全般の注意事項

本入学試験では，志願者は学院・系と第1志望の指導教員を選び，出願します。実際の入学試験は，第1志望の指導教員が指定する『試験科目群』（以下，第1『試験科目群』という。）に従い実施します。志望する学院・系，指導教員の決定にあたっては，「①学院・系案内」（12ページ），「②試験科目群案内」（66ページ）および下記（2）以下を参考にしてください。

合格通知では，合格者の氏名，入学後に所属する学院のほか，系及び指導教員名が明示されます。指導教員の担当するコースが複数ある場合，履修するコースは，合格発表後，希望調査を踏まえ決定します（214ページ参照）。

(2) 第1志望の指導教員の選び方及び『試験科目群』の指定

まず，「①学院・系案内」を読み，各教員の研究分野や担当する系，コースを参考に，第1志望の指導教員を選びます。学院・系及び指導教員は，受験すべき『試験科目群』を指定しており，志願者はその『試験科目群』を受験しなければなりません。教員によっては，2つの『試験科目群』が記載されている場合があります。

(3) 受験する『試験科目群』

実際の入学試験は，第1『試験科目群』に記載された日程，試験内容で行われます。「②試験科目群案内」には各『試験科目群』が実施する試験の内容が記載されています。『試験科目群』は，A日程：口述試験，B日程：筆頭試験（外国語試験，筆答専門科目）及び口頭試問 から構成されます。筆答専門科目については，第1『試験科目群』が指定する科目を受験しなければなりません。『試験科目群』によっては，他の『試験科目群』から出題される筆答専門科目での受験が認められている場合もあります。

(4) 第2志望以下の指導教員の志望

第1『試験科目群』の教員一覧の中から，希望に応じ，第2志望から第5志望までの教員を選ぶことができます。また，『試験科目群』によっては，他の『試験科目群』を指定する教員一覧を掲載し，第4志望（『試験科目群』によっては第2志望）以下であれば指導教員として選択することを認めている場合があります。第1『試験科目群』の案内，諸注意にしたがってください。

他の『試験科目群』の教員を志望する場合，第1『試験科目群』で実施する口頭試問以外に，その『試験科目群』で実施する口頭試問を受験しなければならないことがありますので，注意してください。

(5) その他

教員によっては，最大3つの学院・系を担当している場合があります。このような教員を志望する場合，同一の教員であっても担当する学院・系が異なる場合は，別の教員としてそれぞれ志望することができます。また，『試験科目群』によっては，同一の教員が2つの『試験科目群』に記載されている場合があります。このような場合も『試験科目群』が異なる別の教員として扱うため，それぞれ志望することができます。

【用語説明】

○『試験科目群』

本年度に実施する大学院入学試験において，具体的な入学試験を実施するグループであり，そのグループが行う一連の入学試験のことです。各教員（①学院・系案内参照）には1ないし2つの『試験科目群』が指定されています。ある教員を第1志望教員として本学大学院に出願する場合，その教員が指定する『試験科目群』に記載されている試験を受験しなければなりません。

○筆答専門科目

ある『試験科目群』で入学試験を行う際，筆答試験において受験する専門科目のことです。一般的に，『試験科目群』と同じ名称の筆答専門科目を受験しますが，『試験科目群』によっては他の『試験科目群』が出題する筆答専門科目による受験を認めている場合もあります。